

# 天竜川ダム再編事業 恒久堆砂対策工法検討委員会（第5回）

## 議事要旨

日 時：平成31年1月15日（火）14:00～16:00

場 所：アクトシティ浜松コンgresセンター 43・44会議室

### 【議事】

1. 委員会規約
2. 第4回委員会までの確認事項
3. 維持管理河床と堆砂対策工法の検討
4. 実行可能性調査
5. 今後の主な検討事項

### 【議事要旨】

#### 1. 委員会規約

事務局説明 ■ 事務局より規約（一部改正）案を説明

主な意見 ● 委員全員が了承

#### 2. 第4回委員会までの確認事項

事務局説明 ■ 事務局より第4回委員会までの確認事項等について説明

主な意見 ● 委員全員が了承

#### 3. 維持管理河床と堆砂対策工法の検討

事務局説明 ■ 事務局より陸上掘削土砂の運搬におけるコストや周辺環境に与える影響を最小化するための新たな維持管理河床について説明

主な意見 ● 検討箇所は湾曲しており、土砂が堆積しやすい河道形状であることから、平面二次元解析を取り入れることも有効な検討手段である。

● 土砂を運搬する湖内管理用道路は専用道路なので、ダンプトラックの自動運転等の技術開発も視野に入れ取り組むとよい。

● 湖内管理用道路は、耐久性や維持管理も視野に入れ、必要な護岸整備など極力コストをかけずに整備することを検討する必要がある。

#### 4. 実行可能性調査

事務局説明 ■ 事務局より実行可能性調査におけるストックヤードの排砂特性実験と実験範囲を対象とした平面二次元解析結果の報告及び佐久間ダム・秋葉ダム下流の置土実験結果について説明

主な意見 (ストックヤードの排砂特性実験)

- 土砂還元時の濁水濃度は、できる限り抑制できる方法を検討する必要がある。提示のあった小規模水路からの放流水を用いた濁水を希釈する方法も含め、幅広く検討するとよい。
- 魚類等への影響評価に用いる SI 値の評価においては、粒径の影響も考慮した方がよい。
- 土砂還元時の濁水濃度は、堰の形状だけでなく堰の敷高も影響すると考えられるため、敷高を調整するなどして最適な施設設計となるように検討していくとよい。
- 堰の構造は、維持管理面を考慮すると、スリット構造であっても極力シンプルな構造とした方がよい。

(平面二次元解析)

- スtockヤード下流の河床変動を確認する平面二次元解析は、模型実験の再現と現地で実施を予定する土砂還元の影響予測を区別して整理すること。また、表層材料の粒径の変化にも着目すると土砂還元の影響が確認できる。

(置土実験)

- 置土実験に関して、参考として置土の影響を受けない大千瀬川の河床材料データも収集してはどうか。

#### 5. 今後の主な検討事項

事務局説明 ■ 事務局より本委員会（第5回）での確認事項と今後の主な検討事項（案）について説明

主な意見 ● 土砂還元時の濁水濃度の低減対策は数値解析だけで検討することは難しいので、現地土砂を用いた実験を行ってみてはどうか。

委員長まとめ ● 今回の委員会にて堆砂対策施設の基本的な部分は概ね決まった。今後は個々の施設についてより具体的な検討を進めてもらいたい。

- 本委員会は恒久堆砂対策工法を検討するものだが、秋葉ダムのスルーシングや下流への影響などは、電源開発(株)と協力し、必要に応じて委員会などの意見を聞きながら進めてほしい。

#### その他

事務局説明 ■ (事務局) 次回委員会は次年度開催予定。